

生田清掃活動

明治大学生田VCこなら楽舎根ッコの会主催
2012年10月13日(土)生田坂から生田駅まで



拾ったゴミの集計をもとに
地域の環境について考える



近隣住民の方々から、励ましの声をいただき、地域と一体化した清掃活動が浸透していると実感。
集めたゴミは、分別し、再利用できるものはリサイクルに。



サークルや所属団体問わず、学部・学年を超えた参加者に卒業生も加わって、緑と歴史あふれる生田の魅力を語り合いながらの清掃活動となりました。

秋晴れの土曜日、こなら楽舎根ッコの会を中心に、有志学生が集まり、通学路のゴミ拾いを行いました。

通学路清掃をはじめて5年目。調査票に記入しながら、ゴミの種類とゴミが多く捨ててある場所を調べました。

缶やペットボトルなどのゴミが減ってきている一方、タバコの吸い殻だけは増えている結果が出ました。集計結果を基に、感じたことを述べ合い、対策を話し合いました。



ゴミが捨てにくい地域とはどのようなところだろうか。自分の住む町の取り組みや、自然豊かな地域の美化意識など、環境に目を向けた暮らしの在り方について意見交換。地域を大切に思う気持ちが大切…と話は尽きません。

「ゴミを捨てない」から「きれいにしていきたい」まちづくり。「ゴミをださない」暮らしの工夫。対策を具体化し、学生の意識改善に取り組みながら、清掃活動を継続していくことになりました。